

様式第 14 号(第 22 条関係)

有害ガス発生施設設置(使用・構造等変更)届出書

年 月 日

岡山市長 様

住所 (所在地)

氏名 (名称及び  
代表者氏名)

岡山県環境への負荷の低減に関する条例(平成 13 年岡山県条例第 76 号)第 29 条第 1 項(第 30 条第 1 項, 第 31 条第 1 項)の規定により, 有害ガス発生施設について, 次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※整理番号	
工場又は事業場の所在地		※受理年月日	年 月 日
有害ガス発生施設の種類		※施設番号	
有害ガス発生施設の構造	別紙のとおり	※審査結果	
有害ガス発生施設の使用の方法		※備考	
有害ガスの処理の方法			

- 備考 1 有害ガス発生施設の種類の欄には, 岡山県環境への負荷の低減に関する条例施行規則(平成 14 年岡山県規則第 40 号)別表第 3 に掲げる項番号及び名称を記載すること。
- 2 ※印の欄には, 記載しないこと。
- 3 有害ガス発生施設の構造, 有害ガス発生施設の使用の方法, 有害ガスの処理の方法の欄に関する別紙(1)~(3)を添付すること。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは, 図面, 表等やむを得ないものを除き, 日本産業規格 A4 とすること。



別紙(1)

有害ガス発生施設の構造

工場又は事業場における施設番号			
名 称 及 び 型 式			
設 置 年 月 日		年 月 日	年 月 日
着 手 予 定 年 月 日		年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日		年 月 日	年 月 日
規 模	製品の製造(加工)能力(t/h)		
	原材料の処理能力 (t/h 又は Nm <sup>3</sup> /h)		
	内容積 (m <sup>3</sup> )		
	ブロワー又はポンプの動力(kW)		
	ブロワーの排風能力 (Nm <sup>3</sup> /h)		
	電流容量 (kA)		
	主 要 寸 法	別図のとおり	別図のとおり
	構 造	別図のとおり	別図のとおり

- 備考
- 1 変更届出の場合には、変更のある部分について変更前(左欄)及び変更後(右欄)の内容を対照させ、変更のない部分については右欄に記載しないこと。
  - 2 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
  - 3 有害ガス発生施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本工業規格A4の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。

別紙(2)

有害ガス発生施設の使用方法

工場又は事業場における施設番号										
使用状況	1日の使用時間 及び月使用日数等	時～時 時間/回 回/日 日/月			時～時 時間/回 回/日 日/月					
	季節変動									
使用方法変更年月日		年 月 日			年 月 日					
原材料の状況		名称	性状 気体 液体等	使用 割合 (%)	使用量 t/回,t/日 Nm <sup>3</sup> /回 Nm <sup>3</sup> /日	名称	性状 気体 液体等	使用 割合 (%)	使用量 t/回,t/日 Nm <sup>3</sup> /回 Nm <sup>3</sup> /日	
使用条件	使用絶対圧力 (Pa)									
	使用温度 (°C)									
排出の状況	排出の状況	連続, 不連続(定期,不定期)			連続, 不連続(定期,不定期)					
		時間/回 回/日 日/月 日/年			時間/回 回/日 日/月 日/年					
	排出口の高さ (m) × 排出口の内径(m)	高さ	m, □	m× m	高さ	m, □	m× m			
			φ	m		φ	m			
	排出の型式	自然, 押込, 吸引, その他( )			自然, 押込, 吸引, その他( )					
	排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大	通常		最大	通常				
	排出ガス温度 (°C)	最大	通常		最大	通常				
	排出ガス速度 (m/s)	最大	通常		最大	通常				
排出口の位置及び構造	別図のとおり			別図のとおり						
有害ガスなどの排出状況		有害ガスな どの名称	排出濃度 ppm mg/Nm <sup>3</sup>	排出量 Nm <sup>3</sup> /h mg/h	有害ガスな どの名称	排出濃度 ppm mg/Nm <sup>3</sup>	排出量 Nm <sup>3</sup> /h mg/h			
備考										

- 備考 1 変更届出の場合には、変更のある部分について変更前(左欄)及び変更後(右欄)の内容を対照させ、変更のない部分については右欄に記載しないこと。
- 2 原材料中の使用割合(%)の欄の記載に当たっては、重量比(%)又は容量比(%)の別を明らかにすること。
- 3 有害ガスの排出濃度は、有害ガスなどの処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。
- 4 有害ガスなどの排出状況に著しい変動のある施設については備考の欄に一工程中の排出量の変動の状況を説明すること。
- 5 有害ガス発生施設が密閉式の他の単位操作施設と連続して、1つの製造プラントを構成しているときは、製造プラントのプロセスフローシートを添付すること。
- 6 有害ガスなどの排出状況については、岡山県環境への負荷の低減に関する条例第2条第5項に基づいて定められた有害ガスのほか、有害ガス発生施設から排出される通常の大気成分以外の物質について、その状況を記載のこと。

別紙(3)

有害ガスなどの処理の方法

工場又は事業場における施設番号								
有害ガスなどを処理する施設の工場又は事業場における施設番号								
処理施設の種類・名称及び型式								
処理施設の構造	主要寸法	別図のとおり		別図のとおり				
	構造	別図のとおり		別図のとおり				
	排出口の位置	別図のとおり		別図のとおり				
設置年月日		年月日		年月日				
着手予定年月日		年月日		年月日				
使用開始予定年月日		年月日		年月日				
処理の状況		連続, 不連続(定期,不定期)		連続, 不連続(定期,不定期)				
		時間/日, 回/日 日/月, 日/年		時間/日, 回/日 日/月, 日/年				
排出口の高さ(m)×排出口の内径(m)		高さ m, □ m × m φ m		高さ m, □ m × m φ m				
処理効果	排出ガス量(Nm <sup>3</sup> /h)	処理前	最大 通常		最大 通常			
		処理後	最大 通常		最大 通常			
	排出ガス温度(°C)	処理前						
		処理後						
	有害ガスの処理効果		有害ガスなどの名称	濃度 ppm mg/Nm <sup>3</sup>	量 Nm <sup>3</sup> /h mg/h	有害ガスなどの名称	濃度 ppm mg/Nm <sup>3</sup>	量 Nm <sup>3</sup> /h mg/h
			処理前	最大 通常	最大 通常		最大 通常	最大 通常
		処理後	最大 通常	最大 通常		最大 通常	最大 通常	
		処理前	最大 通常	最大 通常		最大 通常	最大 通常	
		処理後	最大 通常	最大 通常		最大 通常	最大 通常	
		処理前	最大 通常	最大 通常		最大 通常	最大 通常	
		処理後	最大 通常	最大 通常		最大 通常	最大 通常	
		処理前	最大 通常	最大 通常		最大 通常	最大 通常	
処理後		最大 通常	最大 通常		最大 通常	最大 通常		
処理前		最大 通常	最大 通常		最大 通常	最大 通常		
処理後	最大 通常	最大 通常		最大 通常	最大 通常			
備考								

- 備考 1 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前(左欄)及び変更後(右欄)を対照させ、変更のない部分については右欄に記載しないこと。
- 2 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 3 有害ガスなどの処理施設の構造図と、その主要寸法、排出口の位置を記入した概要図を添付すること。